

テッドー報知 2017

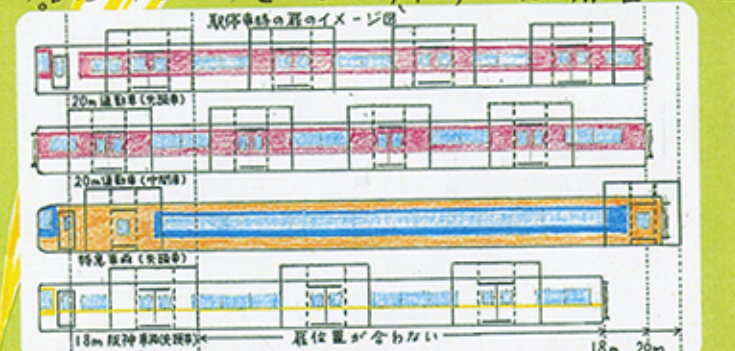
安全対策



試すホーム柵 近鉄の課題

近鉄では、ホーム柵の設置が、安全対策として進められています。しかし、ホーム柵の設置には、ホームの幅や、ホームの形状、ホームの材質など、様々な課題があります。近鉄は、これらの課題を解決するために、様々な試みを行っています。

ホーム柵の設置には、ホームの幅や、ホームの形状、ホームの材質など、様々な課題があります。近鉄は、これらの課題を解決するために、様々な試みを行っています。



今年、上下線共に鉄道の高架化工事が完了して、列車が安全に走行できるようになりました。また、列車の走行速度も向上し、乗客の利便性も向上しています。

進む高架化工事

今年、上下線共に鉄道の高架化工事が完了して、列車が安全に走行できるようになりました。また、列車の走行速度も向上し、乗客の利便性も向上しています。



平面から全方向360度へ!

最近、近鉄沿線に「全方向型踏切警報灯」が設置されています。これは、従来の平面型踏切警報灯と異なり、全方向から列車の接近を検知し、乗客に危険を知らせる仕組みです。

マタニティマーク



マタニティマークは、妊婦や乳幼児を乗せた乗客が、優先座席を利用できるようにするためのマークです。乗客は、このマークを貼った優先座席を利用することができます。

変わる優先座席



今年、近鉄は、優先座席の設置を全面的に見直し、乗客の利便性を向上させるための取り組みを行っています。新しい優先座席は、乗客の安全と快適性を確保するために設計されています。

優先座席は、乗客の安全と快適性を確保するために設計されています。乗客は、この座席を利用することで、乗客の安全と快適性を確保することができます。

編集後記

今年、近鉄は、優先座席の設置を全面的に見直し、乗客の利便性を向上させるための取り組みを行っています。新しい優先座席は、乗客の安全と快適性を確保するために設計されています。